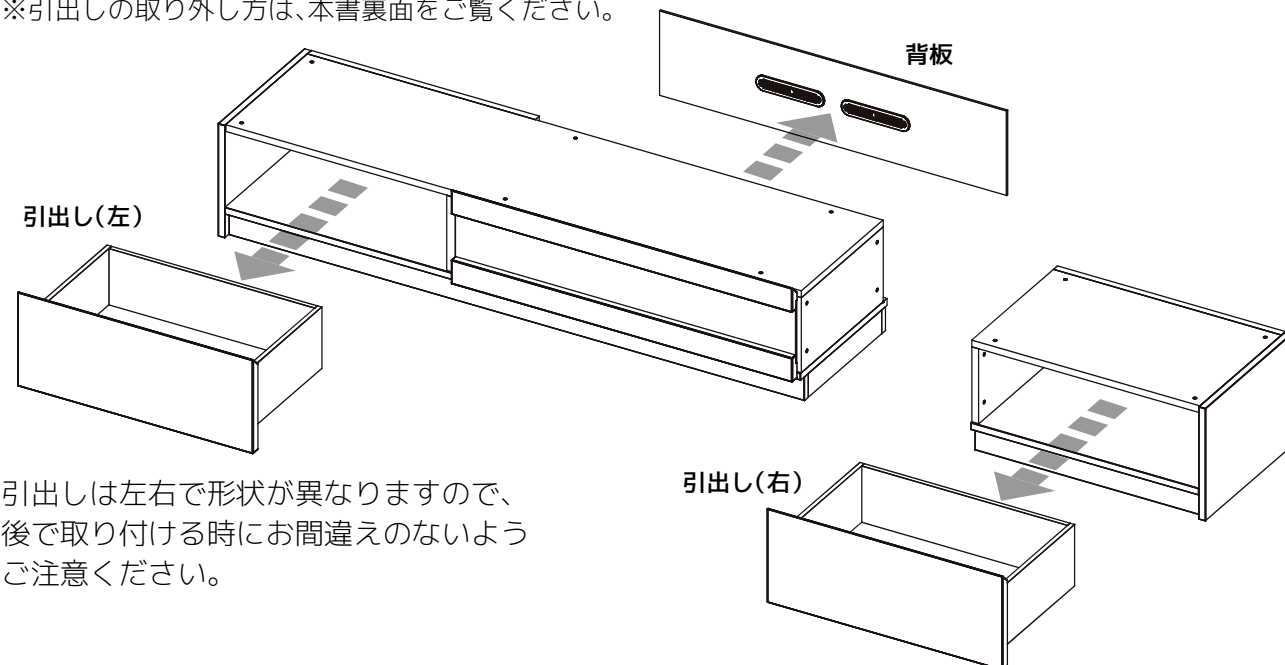
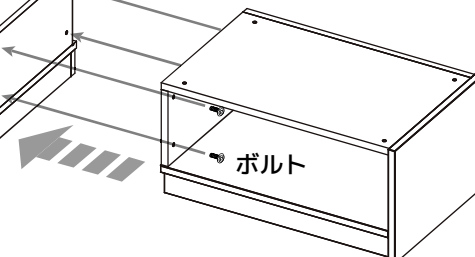


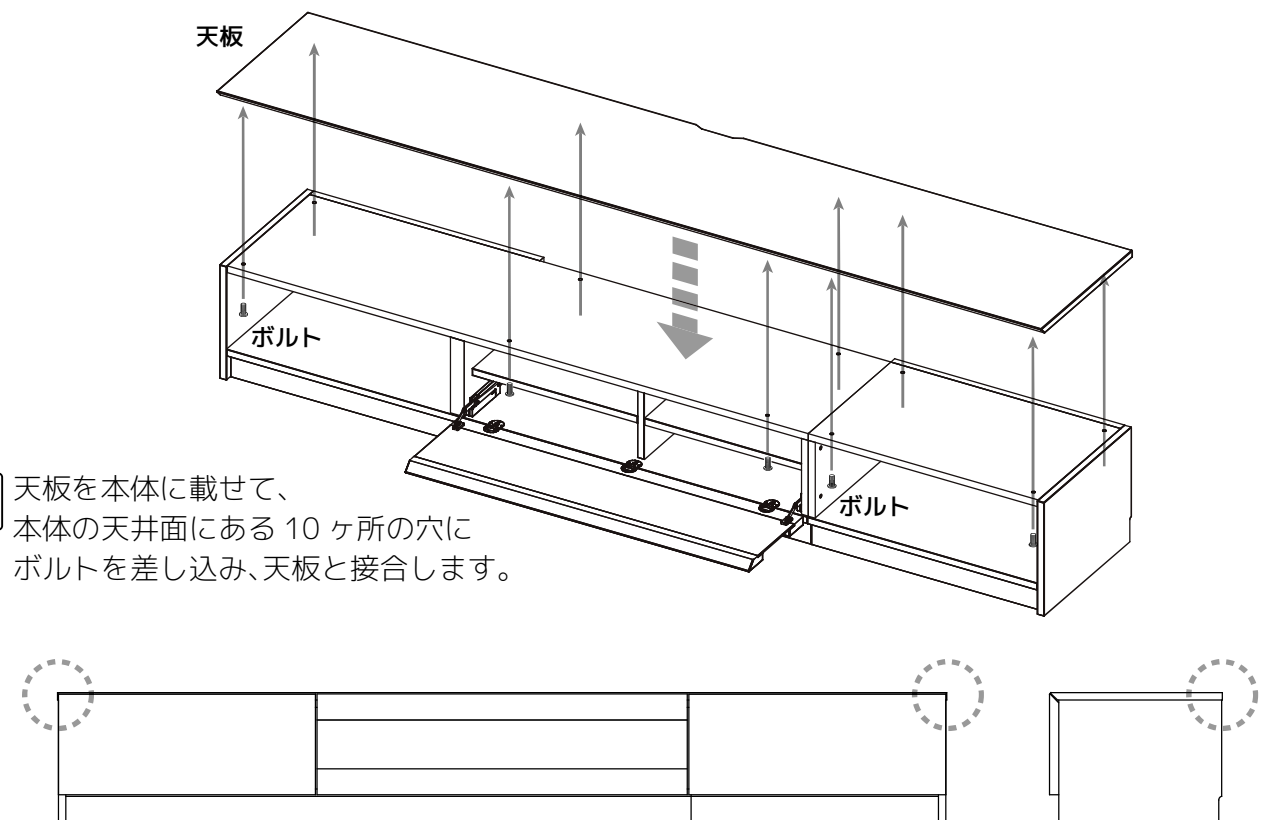
- 1** 本体から、引出し・背板を取り外します。
※引出しの取り外し方は、本書裏面をご覧ください。



- 2** 本体(右)にある4ヶ所の穴に
ボルトを差し込み、本体(左)と接合します。
本体同士にズレがないように注意しながら、
ドライバーを使用してボルトをしっかりと固定します。

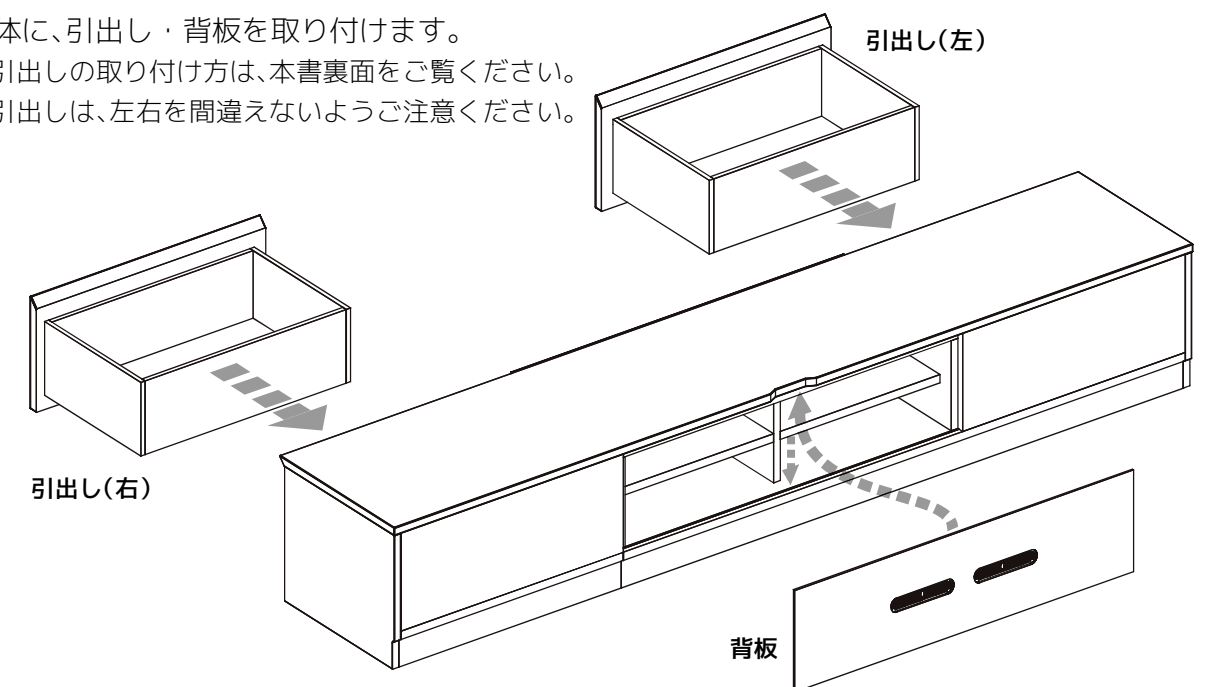


- 3** 天板を本体に載せて、
本体の天井面にある10ヶ所の穴に
ボルトを差し込み、天板と接合します。



天板の左右と後ろは、それぞれ本体より約2mm飛び出した状態が正しい位置ですので、
天板の位置を調整してから、ドライバーを使用してボルトを固定します。

- 4** 本体に、引出し・背板を取り付けます。
※引出しの取り付け方は、本書裏面をご覧ください。
※引出しは、左右を間違えないようご注意ください。



背板は、上端を天板裏面の溝の奥まで差し込んだ後で、
下端を溝に落とし込みます。
※和室の障子や襖と同様の取り付け方法です。

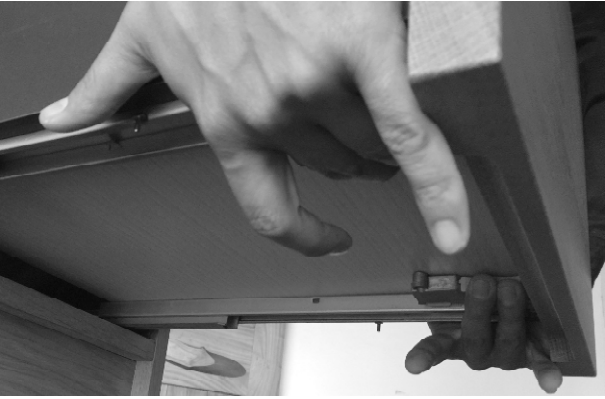
引出しの取り外し・取り付け方法

■ 引出し裏面 金具各部の名称



■ 取り外し

引出しを開けたら、引出しを横から抱えるように手を添えます。
右写真のように、【取り外しレバー】を左右とも軽く握ります。
そのまま、引出しを手前に持ち上げると取り外せます。

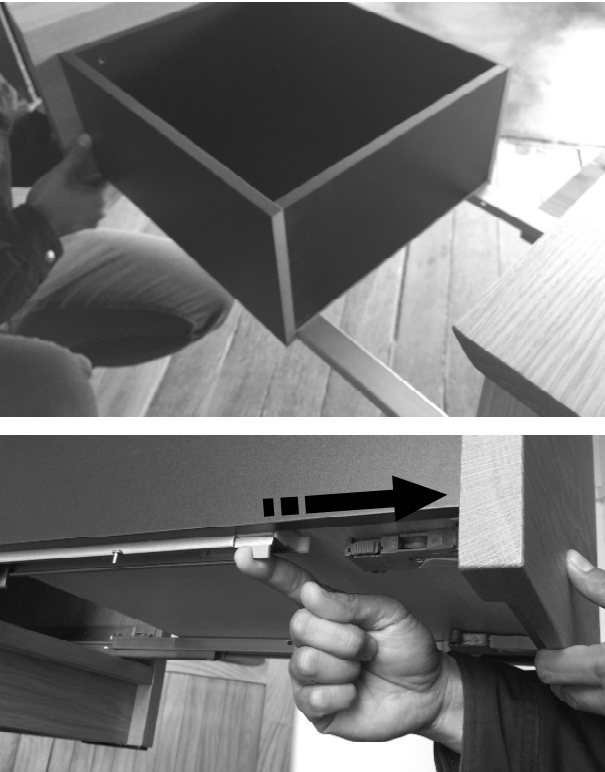


■ 取り付け

TVボード本体から、レールを手前に引き出します。
右写真のように、引出しをレールに載せます。
この時、レールが引出しの横の板より内側に入り込むように載せてください。

引出しを支えたまま、レール先端にある【取り付けツマミ】を手前方向にまっすぐ引き寄せます。最後は少し力を入れて引き寄せると、「カチカチカチ」と連続音がしますので、その音がしなくなるまでしっかり引きます。

引出しを閉めてみて、最後まで閉まらない場合は、引出しをしっかり押し込んでください。



設置の際のご注意

TVボードを設置する際、設置場所の状況によってはTVボード本体に傾きが生じて、中央の扉を閉めた時に隙間の大きさに違いが出たり、扉がちゃんと閉まらなくなったりする事があります。

TVボードを部分的にカーペットの上に乗せたり、異物が挟まったりしていないかをご確認ください。

そのような事がなくとも隙間に違いが出る場合には、下図の事例を参照して、TVボード本体の傾きを調節してください。

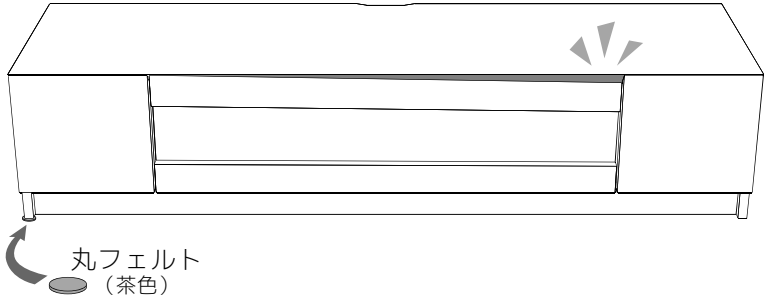
木製家具の特徴

家具の材料である木は、湿度によって大きさ・形が変化します。そのため、各部品をぴったりと隙間なく作った場合、湿度が高い日が続いたりすると木が膨らんで、引出しや扉の開閉ができなくなってしまう。このような事を防ぐため、木が変化しやすい所には隙間をあらかじめ作っていますので、『隙間があること』は正常な状態です。

梅雨の時期などには、この隙間が無くなってしまいますもありますが、梅雨が明ければまた徐々に元の状態に戻りますのでご安心ください。

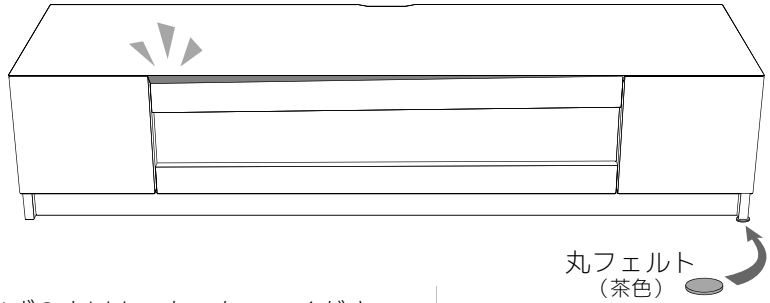
■ 扉の右側の隙間が大きい場合

TVボードを正面から見て、本体の**左前**位置の裏面に、添付の丸フェルトを貼ってください。
扉の隙間にあまり変化がない時は、フェルトをさらに2枚・3枚と重ねて貼ってください。



■ 扉の左側の隙間が大きい場合

TVボードを正面から見て、本体の**右前**位置の裏面に、添付の丸フェルトを貼ってください。
扉の隙間にあまり変化がない時は、フェルトをさらに2枚・3枚と重ねて貼ってください。



- ・フェルトの貼付け作業は、必ず2人以上でおこなってください。
- ・フェルトを貼る時に、本体と床の間に指を挟まないよう十分にご確認ください。

扉マグネットの調節

扉を閉めた時に、ピタッと吸着しなくなった場合は、扉マグネットを調節してください。

※作業の前に、マイナスドライバーをご準備ください。

- ①中央の扉（デッキ収納部）を開きます。
- ②扉を開いたところの本体側に、下図のような丸いパーツがあります。これが扉を吸着するマグネットです。
- ③マグネット自体を、マイナスドライバーを使って回すことで、マグネットの前後位置を調整できます。時計回りに回すと奥に引っ込み、反時計回りに回すと前に飛び出てきます。
- ④扉を閉めてみて、しっかりと閉まるようになるまで位置を調整してください。

※マグネットを反時計回りにまわしすぎると、マグネットが脱落する事がありますのでご注意ください。

